

2 ビジネス d アプリ連携サービス

ビジネス d アプリと連携し 多彩なサービスで業務効率化を促進

NTTコミュニケーション株式会社（以下、NTT Com）は、お客さまの DX、データ利活用、業務効率化などさまざまな課題を解決する各種サービスを提供している。本稿では、それらの中から中小企業のお客さまのビジネスを支援する「ビジネス d アプリ」（本特集①章参照）と連携している3つのサービスの概要と特典について紹介する。

Biz 安否確認 / 一斉通報

災害発生時の従業員の安否状況を自動で確認・集計

一般に、安否確認は有事の際に行うものだが、発生以前から連絡手段を決めておくことが重要だ。Biz 安否確認 / 一斉通報は、気象庁が発表する震度速報を取得し、地震発生時に従業員に自動で通知を行うサービスだ（図1）。震度が閾値を超えた場合には、利用者に対し自動的に安否確認を発信する。本サービスは、電話やメールといった手作業による安否確認と比較して企業内管理者の負担を大幅に削減するだけでなく、従業員への通知、従業員からの回答収集、回答状況の集計も自動で実施する。例えば、メールでの通知の場合、開封する人とならない人が存在し、



NTTコミュニケーションズ株式会社
プラットフォームサービス本部 コミュニケーション & アプリケーションサービス部
(左から) 担当課長 武 晋太郎 氏、主査 坂内 恒介 氏、浅沼 亜紀 氏、
駒田 康孝 氏、担当課長 伊藤 崇樹 氏

社員全員に情報の共有が行き届かないといったケースもあるが、本サービスはメッセージの開封状況をリアルタイムで把握できるため、未読者に開封を促すことが可能だ。

本サービスは、災害発生時だけでなく平時の連絡ツールとしても利用できる。「ボタン」1つで操作できるため、どなたでも簡単にご利用いただけます。台風・豪雨の注意喚起、感染症流行時における従業員さまの

健康状態の把握のほか、日頃の社内連絡など幅広くご利用いただければと思います」（浅沼氏）。

■ビジネス d アプリ利用特典

ビジネス d アプリ内の専用フォームから申し込むと、災害発生時に安否確認を自動で配信・集計する機能を5か月間10IDまで無料で試用できる。

droppin（ドロップイン）

業務に応じた最適なワークスペースを検索・予約

コロナ禍以降、働き方の多様化に伴い、シェアオフィスサービスを検討する企業が増加している。しかし、実際に導入するとなると、利用エリア、セキュリティ、コストといった不安が立ちはだかる。こうした企業

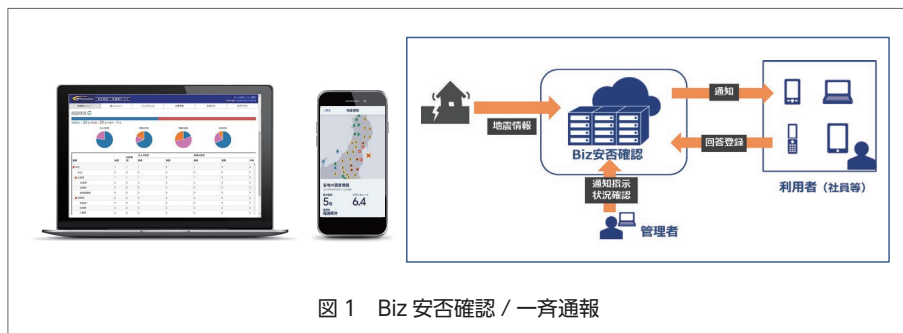
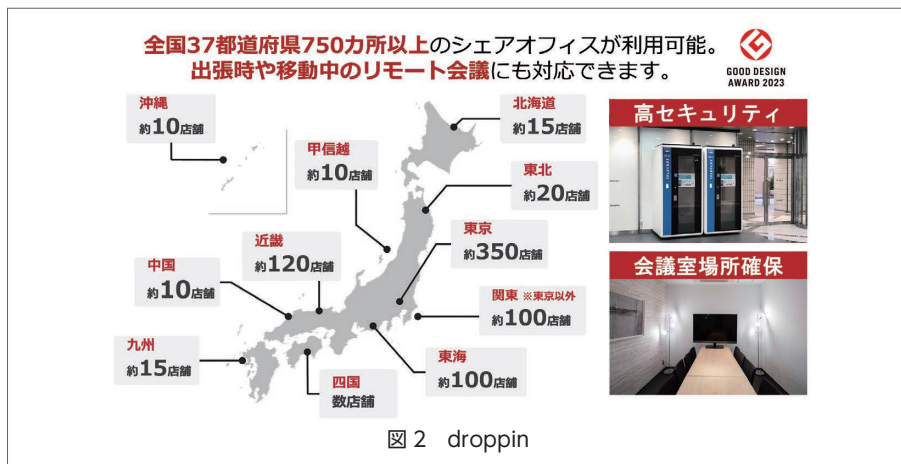


図1 Biz 安否確認 / 一斉通報



の課題に対し、droppinは3つの特長で課題を解決する(図2)。1つ目は、業界最大級のシェアオフィス数。全国37都道府県750カ所以上*から業務に最適な場所を選ぶことができる。2つ目は、安心の個室ボックス。全国350カ所でセキュリティ強度の高い個室ボックスを利用できる。「最近では、出張時や移動中の隙間時間に作業をしたいというビジネスパーソンが増えています。droppinは駅構内や空港などでのご利用が可能のため、こうした方々から好評の声をいただいています」(駒田氏)。3つ目は、予算管理機能。部署ごとに1ユーザーあたりの月額利用上限を設定し、アラートメールの送信や当月内の利用制限を行える。この機能により、企業は従業員の使いすぎを防止し、予算管理を容易にすることができる。

「ハイブリッドワークが常態化し、出勤はしないが自宅近くで仕事をしたいと考えるビジネスパーソンも増えています。企業さまにとって、業界最大級のシェアオフィス数を誇るdroppinの導入は、社員エンゲージメント強化

droppinはグッドデザイン賞2023を受賞しています。



にもつながります」(伊藤氏)。

■ビジネスdアプリ利用特典

droppinのワークスペースや個室ボックスを5000円分まで無料で利用できるクーポンが配布される。

* 2023年10月1日現在

NeWork (ニューワーク)

ワンクリックで気軽にコミュニケーションを

NeWorkは一般的なWeb会議ツールとは異なり、会議の予約やURLの発行が不要で、いつでもワンクリックで会話を開始できるバーチャルオフィスツールだ。離れていてもチームの一体感を醸成し、生産性向上や業務効率化を促進できる3つの特長がある。①「ルームバブル」や「ユーザーバブル」をクリックす

るだけですぐに会話をスタートできる、②自分の状態を3つのモードで表せる、③メンバー全体の様子が俯瞰で一目でわかる。これらのユニークな機能に加え、新たに会話中に5種類の絵文字からリアクションを送れる機能も追加された。

「NeWorkは、導入と運用の手間をかけずに即時に使用することができるため、大企業から中小企業、スタートアップ企業の皆さまからご好評をいただいています。また、離れた場所においても各メンバーの状況が一目でわかるのでチームビルディングにも最適です」(武氏)。

NeWorkは、オフィスだけでなくオンライン展示会や社内研修、懇親会、オンライン授業などでも広く活用されている。「学校への登校が難しい生徒同士のコミュニケーションの場として活用いただいたケースでは、話すことが苦手な生徒もNeWorkの場では距離が近く感じられるようになった、といった声を頂いています」(坂内氏)。

NeWorkは、利用人数20名までのフリープランを無料で提供している。

NeWorkはグッドデザイン賞2022及びASPIC IoT・AI・クラウドアワード2023を受賞しています。

